
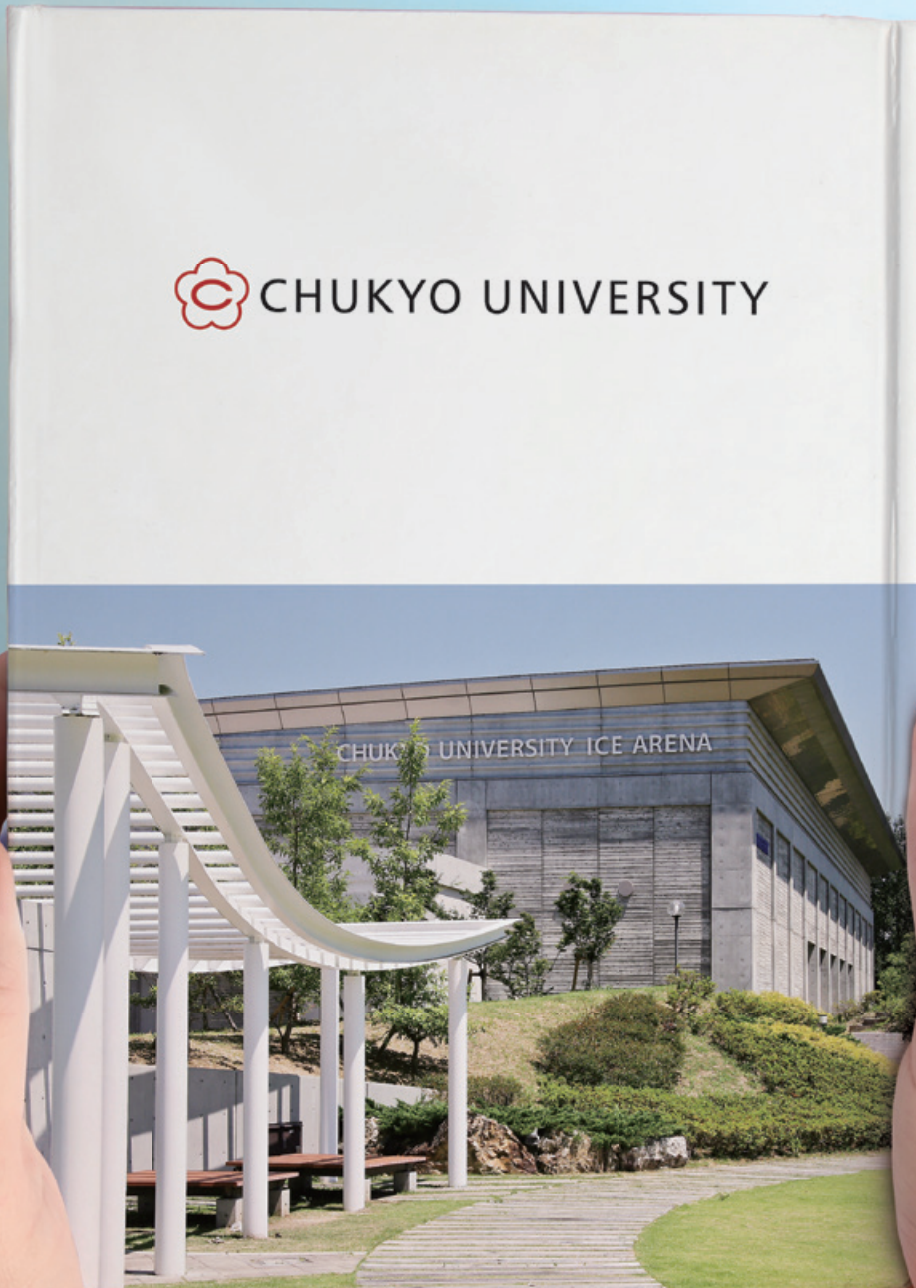


中京大学広報 200号

真剣味

2022 May.
Chukyo University
Public Relations Magazine

 CHUKYO UNIVERSITY



100th
UMEMURA
ベストMAX

真を、ゆく。

あなたの「真」。

それは、タフに、しなやかに、ゆく道を照らし、
夢に向かう原動力となる。

未来を動かす「真剣味」の精神とともに、

梅村学園100周年。

心の真ん中にある個性を大輪のごとく咲かせ、
信じる道の、真をゆけ。

100th
UMEMURA
ベストMAX

梅村学園は2023年に、
創立100周年を迎えます。

中京大学 スポーツ科学部・中京大学 国際英語学部 在学生 / 中京大学附属中京高等学校 在校生

CHUKYO 2022

2022年度 学長・学部長メッセージ

「大学の主役は学生」という信念に基づき、
各学部、そして全学でより一層の教育の質の向上・充実に努めてまいります。



中京大学長 梅村 清英
学校法人梅村学園総長・理事長

人類の叡智を試すかのような厳しく難しい時代の中で、大学が社会にどのように貢献できるかが問われています。大学の主人公は学生です。主人公たる学生には、さまざまな社会の課題に真正面から向き合い、自ら考え行動する自律的な人間に成長してもらいたい。中京大学は、そのためにはより質の高い学びを提供することこそが責務と考え、決意を新たに、教職員一丸となって取り組んでまいります。

学校法人梅村学園は2023年に創立100周年、中京大学はその翌年の24年に開学70周年を迎えます。これまで2014年からの長期計画「NEXT10」に基づいて、教育力と研究力の向上、社会連携、国際化、卒業生連携の強化を着実に推し進めてきており、いよいよ新たなステージでの飛躍に備えた改革は最終段階に入ります。

校訓「真剣味」、建学の精神「學術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」という本学独自の教育理念をしっかりと守り継ぐ一方で、時代の流れに対応し、変えるべきものは果敢に変革していかねばなりません。ブランド力を一層高めるとともに、社会への発信を強めることによって、より魅力ある大学を築いていきたいと考えていますので、よろしくお願いたします。



文学部 柳沢 昌紀

文学部では、過去から現代に至る人間の営みを学びます。そのために、文献を正確に読む力、真價を見抜く力、他者の思考への想像力、論理的な表現力などを身に付けてもらいます。それは人間力と言いつけてもよいでしょう。感染症や災害や戦争を、先人ほどのように乗り越えてきたのか。人間の経験の積み重ねの跡をたどり、今をいかに生きるべきかを考えること。それこそが、先の見えない混沌の時代を歩んでゆく唯一の方法ではないかと思えます。



国際教養学部 張勤

2022年度は国際教養学部にとって要の年となります。20年より募集停止となったため、本年度は4年生が卒業を迎えることになり、学部としても募閉じの段階に入り、国際教養学部の集大成となる本年は、これまで行ってきた教育・指導を学部の教育目標の達成に向け、今まで以上に忠実に進めます。また休学やその他の事情で23年以降も在学する学生の教育・指導環境の確保も努めていきます。



心理学部 小島 康生

新入生の皆様、このたびは中京大学心理学部へのご入学、誠におめでとうございます。当学部は、本邦初の「心理学部」として2000年に開設、以来20余年の歴史を持つ国内屈指の伝統学部です。4年後の皆さんが、この中京大学で心理学を学んだことに達成感と誇りを持ってまいります。皆さんも学習のみならず多くのことに貪欲かつ積極果敢に挑戦してください。



総合政策学部 大森 達也

2016年に総合政策学部長に就任以来、総合政策学部の学生たちには、「なぜ大学に進学したか」を考え、「自ら立ち（自立）」、「自らを律する（自律）」学生として生活を送ることを求めています。このことは今も変わらず、政治学・法学・経済学・経営学を中心とした社会科学を多面的に学修し、3年間のプロジェクト研究を通じて、卒業後、本学部の学生が社会で活躍できるように引き続き教育していきます。



経営学部 佐藤 祐司

経営学は、企業や行政機関などの組織をいかに効率的に管理・運営するかを探究する学問です。管理・運営の目的は、組織で働く人を生かして果たすべきミッションを達成し、最終的には社会に貢献することにあります。このような経営学の修得には、自ら考え、行動することが求められます。学生諸君が興味と関心を持って存分に経営学を学ぶことができますよう、教育環境の整備に努めてまいります。



工学部 上林 眞司

工学部の目標は、信頼できるエンジニアの育成（教育力）と、最先端技術の研究開発（研究力）です。この2つの目標は、大学教育の両輪であり、学生は講義・演習の中で、教員、先輩、仲間と身近に接し、基礎学力を身に付けます。また、最先端の研究開発に触れることで、身に付けた知識を使いこなす体験をします。この体験が、自信を持って社会に羽ばたけるエンジニアを育てると思えます。



国際英語学部 中川 直志

2022年度は募集停止から3年目を迎え、大半の学生が卒業する年となります。国際英語学部が大学内外で築き上げた高い評価や、その先駆的取り組みによって大学英語教育界で果たしてきた歴史的役割に思いを致し、今年度が有終の美の一つに数えられるよう、日常にも非日常にも真摯に向き合い、学生が満足のうちに卒業できるよう全力で取り組みます。



国際学部 佐道 明広

ようやくコロナ禍後の世界が見えてきました。海外の留学生が日本に入国できるようになり、中京大学でも、さまざまな状況を見極めながら海外留学を再開しています。コロナ禍以前と全く同じではありませんが、グローバル化の進展は避けられません。また、ヨーロッパでの紛争に見られるように、国際秩序の変動も起きています。こういった時代に対応できる人材の育成こそ中京大学国際学部の使命です。



法学部 杉島 由美子

私たちの社会は、法律と密接に関わっています。法学部では、「しっかりとした基礎教育」「先進的な応用教育」「手厚い就職サポート」を3つの柱に据え、教育プログラムを展開しています。今後も、法を社会の中で生かし使いこなす力を身に付け、社会に貢献できる人材を養成していくことができるよう、社会動向を踏まえながら教育内容を充実させていきたいと考えています。



経済学部 小林 毅

経済学は、広範囲にわたる経済現象を理論・実証・歴史といった手法で分析する学問です。経済学部では、学生が基礎科目を体系的に学べるようカリキュラムを工夫し、また広範な応用科目群を用意して学生の多様な興味に応えています。経済学の素養は社会の様々な場所で有用であり、経済学を学んだ学生が将来社会で活躍できるよう、教育内容をさらに充実させていきたいと考えています。



現代社会学部 大岡 頼光

現代社会学部の使命は「人がいけるつながりを創る」です。「いきる」とは、①「生きる」。税金というつながりで授業料を廃止し、人を活かす等です。②「死なずに「生きる」。人とつながりがないと自殺等が増えます。コロナ禍でつながりが薄れ、使命の重要性は高まっています。国の科学研究費をよく獲得する高い研究力を元にした、社会学を基礎とする4専攻の教育を活かし、学生たちには使命達成を志してもらいたいです。



スポーツ科学部 種田 行男

1959年に創立したスポーツ科学部は2021年度に学部を再改組し、5学科を有するスポーツ科学の総合学部へ発展しました。24年の完成年度時には学生数が約3,000名の大規模学部となり、総勢60名の専任教員が主体となる予定です。スポーツマネジメント・アスレティックトレーナー・競技スポーツ・学校教育・健康づくり等のスペシャリストを育成し、スポーツ科学を用いて社会の発展に寄与する人材を輩出してまいります。



式典終了後は五輪出場の学生2人が会見

式典終了後、北京五輪・東京五輪出場を果たしたスポーツ科学部卒業のショートトラックスピードスケート吉永一貴選手と、競泳のアルー・アダウィイサ選手がそれぞれメディア取材に応じ、学生生活を振り返るとともに、これからの意気込みを語りました。イサ選手は中京大学大学院に進学し「さらにタイムを縮めたい」、吉永選手は「今度こそメダルを」と語り、中京スピリッツを抱き、世界の高みへと羽ばたく頼もしさを感じる記者会見となりました。



吉永一貴選手 アルー・アダウィイサ選手

2788人が新たなステージへ

中京大学の2021年度卒業式が3月19日、名古屋国際会議場(センチュリーホール)で行われ、学部生2718人、大学院生70人が卒業という新たな門出を迎えました。

梅村清英学長は式辞にて、ウクライナ情勢や新型コロナウイルスの流行、地球環境問題など、社会が極めて困難な問題に直面しているとして、「歴史に学びつつ、その一方で既存の枠組みにとらわれずに大胆に発想し、実行に移していく。今求められているのは、そうした力です」と伝え、
「本学を巣立っていく皆さんの、若く柔軟な感性に大いに期待したいと考えます」とエールを送りました。梅村学長の式辞を受け、各学部では卒業生の代表3人が謝辞を述べました。三者三様の言葉で、それぞれの大学生活への想いと感謝が語られ、会場では目を潤ませる学生の姿も見られました。

卒業生代表者あいさつ



岩崎光希さん(文学部) 佐々木麻友さん(現代社会学部) 鈴木智貴さん(法学部)

3人の学生の謝辞に共通していたのは、やはり困難の多かったコロナ禍での大学生活を支えてくれた人々たちへの感謝の言葉でした。

新入生代表者あいさつ



石黒アシャンティさん(国際学部) 文元啓太さん(経済学部) 小林禪心さん(スポーツ科学部)

各部では新入生の代表が宣誓。3人とも、大学生活への期待はもちろん、自分たちを支えてくれた人々への感謝を込めた宣誓でした。

3528人が中京大学での新たな一歩を踏み出す

中京大学の2022年度入学式が4月5日、日本特殊陶業市民会館(フォレストホール)で行われました。学部生3444人、大学院生84人の合計3528人が新たなスタートを迎えました。

梅村清英学長は式辞で、緊迫するウクライナ情勢に触れ、「本学のすべての学生や教職員が、人種や国籍に関わらず、自由に、かつ安心して学業や研究に励んでいけるよう、中京大学は今後も学術とスポーツを通じて、平和な国際社会の実現に向けて貢献していきたい」と力強く語りました。また、「中京大学は、自ら考え、行動することのできる、しなやかな知識人の育成を目指しています。私たちの身近にそれを体現してくれた先輩たちがいます。それは北京冬季五輪に出場した本学の在学生や卒業生です」と述べ、「スポーツであれ学業であれ、意欲を持って主体的に挑戦する皆さんを全力で応援します」とこれからの学生生活を激励しました。

会場内では静穏な環境をまもっていた新入生たちですが、これから共に過ごす同窓生たちと笑顔で手を振り合う姿も見られました。

フィギュアスケートの鍵山優真選手がスポーツ科学部に入学

式典終了後、スポーツ科学部に入学した、フィギュアスケートの鍵山優真選手が報道陣の取材に応じました。北京冬季五輪・フィギュアスケート男子シングルで銀メダルを獲得した鍵山選手の入学とあって、多くの報道陣が集まりました。鍵山選手は、「フィギュアスケートを究めるための環境が素晴らしく、中京大学しかないと感じました」と、数ある大学のなかでも進学先として本学を選んだ理由を語り、「次の五輪では一番良い色のメダルを目指したいです」と笑顔で意気込みを語りました。



鍵山優真選手



● 2021 Campus2 Can Pass
～スポーツでつなぐ中京大学～を開催



スポーツ応援文化の醸成とキャンパス間の学生交流を盛り上げる「Campus2 Can Pass～スポーツでつなぐ中京大学～」が12月13～17日、名古屋キャンパスガレリアで開催されました。初日はサッカー部による「キックターゲット」、2日目は、アメリカンフットボール部による「スローイングのあて」、3日目は、「ベンチプレス」が行われ、梅村学長をはじめ、東京五輪に現役学生として出場した競泳のルー・アダウィ イサ選手(スポーツ科学部4年)、同じく競泳の小西奈選手(ガスワン、2018年度スポーツ科学部卒)らオリンピックも参加しました。「ベンチプレス」では、100kgのウエイトを梅村学長が持ち上げると、周りからは大きな歓声と拍手が沸きました。



● 公務員試験対策講座を受講する学生に
内定者による相談会を開催



資格センター主催の公務員内定者相談会が12月15、16日に、名古屋キャンパスで行われました。3年生延べ117人が参加し、国家公務員(総合職、一般職)や地方上級職(県庁、政令指定都市)などに内定した16人の4年生が個別ブース形式で相談に応じました。4年生は勉強方法や説明会への参加、面接の対応などについて、先輩へ親身なアドバイスを送っていました。

CHUKYO UNIVERSITY
2021.12
~2022.4
monthly news

2021
12
December



● 中京大学のアントレプレナー教育プログラム
EPoCH(エポック:Entrepreneur Program of Chukyo University)が
スタート

今年度から中京大学では、アントレプレナーシップ醸成を目的とした教育プログラムを学部生・大学院生に対して提供していくことになりました。「アントレプレナーシップ」とは、「起業家精神」と訳されることが多いですが、それだけにとどまらず、「さまざまな困難や変化に対し、与えられた環境のみならず自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神」を指します。これらを備えた人物像は現在、多くの企業に求められています。中京大学のアントレプログラムは「EPoCH」と名付けられ、講演会などのイベントが企画されました。



● マーケティングや商品企画を専攻する
総合政策学部・坂田隆文ゼミの学生が
企画・制作協力した通販サイト「だらりん」がオープン!

総合政策学部・坂田隆文ゼミの学生が約5カ月かけて企画提案を行った通販サイト「だらりん」が12月24日にオープンしました。だらりんは「作り手の想いをしっかり伝えることで愛知を応援する」をコンセプトに、ものづくり愛知の素晴らしさを多くの方に知ってもらうためのサイトです。坂田ゼミ生たちはサイトに掲載できる商材の探索・選定や、企業への商談同行、さらにはオリジナル商品にするための企画提案などの活動を行いました。



坂田ゼミ生が商品開発に携った
キャンプレート「Earth Gear」も掲載!

関連HP だらりん



● スポーツ科学部創作ダンス発表会
コロナ禍で苦しい時間を過ごした2年生もはつらつとダンス!

中京大学スポーツ科学部創作ダンス発表会が12月15日、豊田市民文化会館で開催されました。出演した2年生は、入学後、半年間すべての授業がオンラインになってしまった学年です。交友関係を広げにくい状況が続きましたが、今回ようやく創作ダンスという形で大学の仲間と一つの目標に向かう時間を過ごしました。



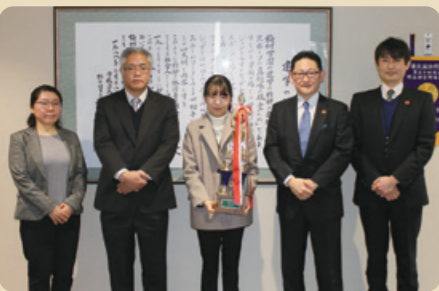
● 中京大学と愛知総合工科高校が高大連携協定を締結

中京大学は12月14日、愛知県立愛知総合工科高校と高大連携協定を締結しました。愛知総合工科高校は、愛知県における「ものづくり人材」育成中核拠点を目指し、最新の研究施設・設備が整備された高校です。今回の協定について、同校の山口直人校長は「高度な学びへの興味関心の強い生徒が工学部の学生と交流することで、その興味関心を広げていけたら」と期待感を示しました。梅村清英学長は「生徒・学生の相互交流や、施設の相互利用に加え、将来的には共同研究プロジェクトのようなものも実施したい」と意気込みを語りました。



締結式に出席した梅村学長、山口校長

公立高校との
高大連携は初の試み!



(左から)尾和潤美准教授(ゼミ教員)、
中川直志学部長、松波さん、梅村学長、森山真吾准教授

● 国際英語学部・松波香帆さんが日韓交流スピーチコンテストで銀賞を受賞!
韓日スピーチコンテストでも奨励賞を受賞し、学長賞も2件授与



第17回日韓交流スピーチコンテストで
発表する松波さん

学長賞
W受賞

韓国に交換留学していた国際英語学部4年の松波香帆さんが留学中、在韓日本大使館主催の「第17回日韓交流スピーチコンテスト」(12月11日開催)で3位にあたる銀賞を受賞しました。また、留学前の6月には「韓日スピーチコンテスト2021」で奨励賞を受賞していて、この2件に対して学長賞が贈られました。学生1人に対して同時に2つの学長賞が贈られるのは今回が初めてです。

● 法学部・中川由賀ゼミの学生が
愛知県警察本部の「サイバー犯罪模擬捜査」に参加



法学部・中川由賀ゼミの学生15人が12月4日、愛知県警察本部のインターンシップの一環である「サイバー犯罪模擬捜査」に参加しました。このインターンシップは、第一線で活躍する愛知県警察本部の現職警察官の指導の下、法学部と他大学の情報学部の学生が共同でサイバー犯罪の模擬捜査をするという企画でした。一連の捜査の過程を通じて、学生たちは授業で学んでいる刑法や刑事訴訟法が、実務ではどのように適用されるかを体験し、刑事法に対する理解を深めた様子でした。また、他大学の情報学部の学生との共同作業や、現役の捜査官から仕事に対する心構えを聞くなど、多くの刺激を受ける場となりました。



(左から)平田社長、川地さん、大岡頼光学部長

学生2人に愛知環状鉄道から感謝状 貝津駅で人命救助



青井さん

現代社会学部3年の川地功起さんとスポーツ科学部3年の青井香々櫻さんが、愛知環状鉄道の貝津駅(豊田市)構内にて人命救助を行ったことを受け、2月24日、3月2日に愛知環状鉄道株式会社の平田雅也代表取締役社長より感謝状が贈られました。2人は「困っている人を助けるのは当然のことです」と語りました。

経営学部渡辺丈洋ゼミ、現代社会学部亀山俊朗ゼミSDGs IDEA FORUM 2021で特別賞

経営学部・渡辺丈洋ゼミと現代社会学部・亀山俊朗ゼミの学生チームがそれぞれ、SDGs IDEA コンテストで特別賞を受賞しました。このイベントは名古屋市などが主催し、持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた名古屋市の地域課題を、大学生のアイデアで解決に導くことを目的にしたイベントです。



亀山俊朗ゼミ「子どもにSDGsを広めよう! 更なる認知度向上のために」

SDGsの知識について、子供たちが競技の中で楽しく学べるように「SDGs運動会」を企画。スポーツの盛んな中京大学の特色を生かした点や、地域の住民や企業と協働し、まちづくりにつながるアイデアが高く評価されました。



特別賞
受賞

渡辺丈洋ゼミ「外食で食べ残しを持ち帰りやすい環境をつくろう」

外食での食べ残しの持ち帰り促進のため、飲食店にポスターを設置しお客様が持ち帰りを利用しやすくとともに、持ち帰り容器も持参してもらうなど、環境にも配慮したアイデアを盛り込み、実現可能性の高い提案として評価されました。

CHUKYO×北京五輪 出場選手・結果

中京スピリッツで世界へ羽ばたいた選手たち。応援ありがとうございました!



・フィギュアスケート団体
・フィギュアスケートペア **7位入賞**
三浦 璃来選手
(木下グループ、スポーツ科学部)
木原 龍一選手
(同、2014年度スポーツ科学部卒)

団体
銅メダル
世界選手権
2022
銀メダル



共同通信社

共同通信社



シングル・団体
銅メダル
世界選手権
2022
金メダル

・フィギュアスケート団体
・フィギュアスケート男子シングル
宇野 昌磨選手
(トヨタ自動車、スポーツ科学部)

共同通信社



フリースタイルスキー
男子モーグル
堀島 行真選手
(トヨタ自動車、2020年度スポーツ科学部卒)

銅メダル

共同通信社



ショートトラック
スピードスケート **5000mリレー8位入賞**
吉永 一貴選手
(トヨタ自動車、スポーツ科学部)

共同通信社

共同通信社



スノーボード男子スノーボードクロス
高原 宜希選手
(Pasco SSC、2019年度スポーツ科学部卒)

共同通信社

工学研究科・橋本学研究室メンバーによる論文が IWAIT国際会議で「Best Paper Award」を受賞

IWAIT国際会議(International Workshop on Advanced Image Technology)が1月4~6日、香港で行われ、工学研究科・橋本学研究室に所属する江場さくらさん(修士1年)ら3人による研究論文が、「Best Paper Award」を受賞しました。工場における生産自動化を目的とした新技術を提案。画像をたった1回走査するだけで複数種類を識別するという独創的なアイデアと、高速・高精度な性能が高く評価されました。また、この受賞を受け、江場さんには学長賞が贈られました。



(左から)橋本学教授、江場さん、中林尚也さん

学長賞
受賞

Best Paper
Award

新型コロナウイルス流行の影響で入学式が中止となった「2020年度入学生の集い」を開催



2020年度入学者を対象とした入学生の集いが1月13日、名古屋・豊田両キャンパスで行われました。同じ学部の学生同士で交流を図るほか、参加者の多くが今年成人を迎えることもあり、そのお祝いも兼ねて開催されました。イベント終盤、学部長とのじゃんけんによる景品抽選会では学生たちは目を輝かせて楽しんでいました。

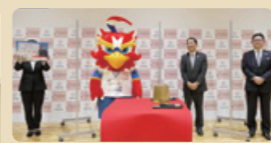
60個が即売! 経営学部・中村雅章ゼミが 八事の人気パン店「ボン・ヌフ」と共同開発したメロンパンを販売



経営学部・中村雅章ゼミの3年生が、名古屋キャンパスにほど近い八事地区にあるパン厨房ボン・ヌフと産官学連携でメロンパン3種を開発しました。1月17日、名古屋キャンパス生協前で販売し、このうち「プリュレメロンパン」と「さつまいもメロンパン」は、ボン・ヌフ店頭、ベルマートキヨスクの名古屋駅JRゲートタワー店と大曽根店でも販売されました。



中京の名を世界に。



新春賀詞交歓会をオンラインで開催 北京五輪代表の中京大学勢6選手を激励

中京大学校友会主催の新春賀詞交歓会が1月22日、オンラインで開かれました。北京冬季五輪開幕が2月4日に迫っていたことから、日本代表として出場が内定した中京大学勢への激励を目的に、メイン企画として「北京2022冬季五輪オンライン壮行会」が同時配信されました。選手たちは海外からビデオなどで参加し、激励に感謝するとともに健闘を誓っていました。

工学研究科・ハルトノ研究室小川菰奈さんが 国際会議27th International Symposium on Artificial Life and Roboticsで「Young Author Award」を受賞

国際会議AROB-ISBC-SWARM 2022(27th International Symposium on Artificial Life and Robotics)が1月25日から27日にオンラインで開催され、工学研究科・ハルトノ・ピトヨ研究室の小川菰奈さん(修士2年)がYoung Author Awardを受賞しました。小川さんは「人間の知識や経験を事前に転移できる新しいニューラルネットワークの開発を行っています。将来的には職人技などのAIへの学習も期待できる研究です」と語りました。

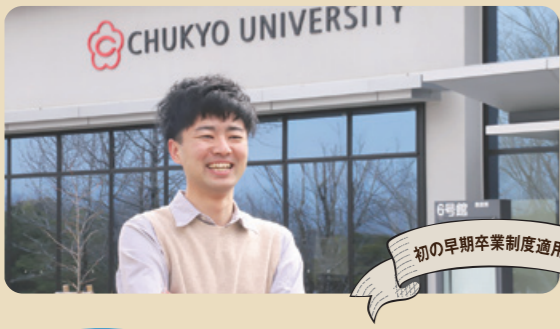
関連HP 27th International Symposium on Artificial Life and Robotics



ハルトノ先生
はじめ
皆さんに感謝!



Young Author
Award



初の早期卒業制度適用者

● スポーツ科学部・山内溪太さん
● 本学初の早期卒業制度適用者として次年度から大学院へ

スポーツ科学部には2018年度入学生より、優秀な学業成績を修めた学生に対し、3年生終了時点での卒業(早期卒業)ができる「早期卒業制度」があります。22年度スポーツ科学部3年生の山内溪太さんは、その制度を本学で初めて利用し、通常4年生となる次年度から、中京大学大学院への進学が決定しました。山内さんは「大学院に進学したいという思いがあり、制度を使えば学費と時間をより有意義に使えると感じました」と語りました。



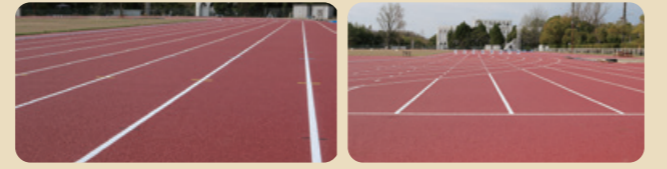
スターバックス 2022年4月OPEN!

自宅でも、教室でもない『サードプレイス』で、空き時間や授業後など、スターバックスのコーヒーを手に、寛ぎと学びの時間が満喫できます。



豊田キャンパス、梅村陸上競技場の改修工事が完了

今回の改修では、走路の硬さや引っ掛かりが大幅に改善されました。授業で使用する学生はもちろん、陸上競技部の選手たちもさらに安全かつ快適に競技に取り組むことができるようになりました。また、日本陸上競技連盟が定める公認施設として認定されている同競技場ですが、ラインマークの入れ方が国際大会と同じ規格になったことも選手たちにとっては大きなメリットに。世界レベルで活躍する選手の育成につながる事が期待されます。



奨励賞 受賞

加納助教



測定の様子

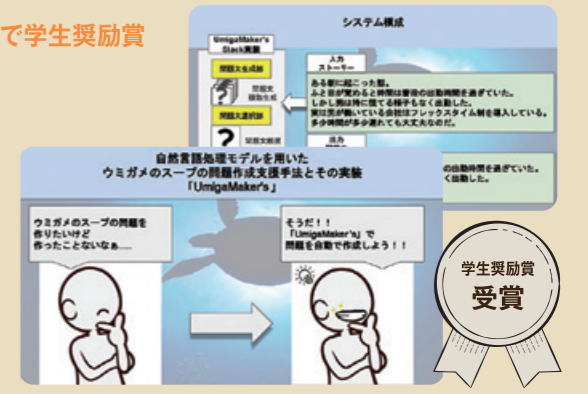
● スポーツ科学部・加納裕久助教 日本体育測定評価学会で奨励賞を受賞

スポーツ科学部・加納裕久助教が3月5日、2021年度日本体育測定評価学会で奨励賞を受賞しました。この賞は、日本体育測定評価学会誌に掲載された論文の中から、若手研究者(35歳未満)の著者1名に授与されるものです。

論文では、幼児を対象に移動標的の時空間的に予測し、移動標的の目的地にタイミングよく跳び乗るといった跳躍課題における定位能力と分化能力の発達の特性を検討しています。その発達には男女で発達傾向が異なること、3歳後半頃から即時的な学習効果が表れること、4歳後半頃に一定の水準に達することが示されました。

● 工学部濱川礼研究室の角谷康太さん 情報処理学会第84回全国大会で学生奨励賞

3月3日から5日に愛媛大学とオンラインのハイブリッドで開催された情報処理学会第84回全国大会で、工学部濱川礼研究室の角谷康太さん(情報工学科4年)が学生奨励賞を受賞しました。発表した「自然言語処理モデルを用いたウミガメのスープの問題作成支援手法とその実装『UmigaMaker's』」は、いわゆる「ウミガメのスープ問題」と呼ばれる水平思考問題を、任意の文章から「ミスリード」も含めて問題文を自動生成するシステムで、高い評価を受けました。



関連HP 一般社団法人情報処理学会 大会学生奨励賞



● 2019年度卒業生向け卒業セレモニー 3学年向けオンライン祝賀会をバーチャル空間で開催

2019年度卒業生向け卒業セレモニーと、19年度、20年度、21年度卒業生向けのオンライン祝賀会が3月20日、バーチャル空間である「ホームポートフェスタ特設会場」で行われました。梅村清英総長・理事長、学長、そして19年に学長を務めていた安村仁志学事顧問も登場。オンライン上で祝意を述べました。特設会場ではキャンパスのおなじみの建物が再現され、会場内を参加者が自由に行き来し、友人や教職員との久しぶりの再会を喜んでいました。



安村学事顧問

CHUKYO COLUMN

心優しきバンクラス王者 久米 鷹介 さん(2007年3月 体育学部 体育学科)

総合格闘技道場ALIVE所属 **バンクラス 第7代 ライト級チャンピオン**

3度の防衛に成功!



体育学部(現:スポーツ科学部)は、トップアスリートとして入学する学生が多い中、私は一般入試での入学でした。私は決してスポーツエリートではありませんでした。それでも、プロの格闘家になれたのは、高校時代の恩師や、現在所属している総合格闘技道場ALIVEでの出会いとご指導のおかげ。体育学部で、全国・世界レベルで活躍するような素晴らしいアスリートたちがすぐそばにいる環境だったことも、良い刺激になりました。私が王座を獲得するまでは気が遠くなるほど長い道のりで、苦労も多かったです。そんな中、ずっと支えてくださった皆さんには感謝しかありません。学生の皆さんも周りの人への感謝を忘れず、頑張ってください。

● 経営学部・中村雅章ゼミ生が 八事商店街公式ホームページのリニューアルに協力



関連HP 八事商店街公式ホームページ

経営学部・中村雅章ゼミの3年生が、八事商店街公式ホームページのリニューアルに全面的に協力しました。八事商店街振興組合に加盟している全45店舗に対して、最新情報の収集を行い、約2カ月でHPの基本的な枠組みを完成させました。今後はさらにコンテンツを充実させ、適宜修正を加えるとともに、訪問者増加のためのSEO対策を強化します。このプロジェクトはゼミの後輩に引き継ぎ、2~3年計画でホームページを完成させる予定です。

● 総合政策学部・坂田隆文ゼミ 愛知県主催「あいち学生観光まちづくりアワード」で奨励賞を受賞



奨励賞 受賞

総合政策学部・坂田隆文教授のゼミ生が3月22日、愛知県が主催する「あいち学生観光まちづくりアワード」に出場し、奨励賞を受賞しました。本コンテストは愛知県内外の学生等を対象に愛知県の観光振興につながる提案を募集したものです。ゼミ生たちは48件の応募の中から一次審査(書類審査)を通過した5団体による最終報告会に臨みました。坂田ゼミは田原市の農産物を活用した「田原 de ベジティブィー~vegetable x activity~」を提案しました。

100th UMEMURA

ベストMAX

梅村学園
創立100周年に向けての
最新NEWS

Instagram 「梅村学園100周年公式アカウント」を開設



Instagram「梅村学園100周年公式アカウント」を開設しました。中京大学・中京大学附属中京高等学校の風景や学生・生徒の姿など、梅村学園の今を学生世代の視点からお届けします。撮影するのは、東京在住、エモーショナルな世界観の写真を撮り、数々の作品を発表しているフォトグラファーの葵さん (@aoii6327) や、中京大学フォトサークル「光画-photo circle-」 (@kouganoinsta) のメンバーなどです。

たくさんの方フォローを
お待ちしております。



UMEMURA_100ANNIVERSARY

「CHUKYO MARKET」に 新商品が入荷

高いデザイン性と最新のトレンドを意識したファッションアイテムの開発を行っている「CHUKYO MARKET」に新商品が入荷しました。

CHUKYO MARKET

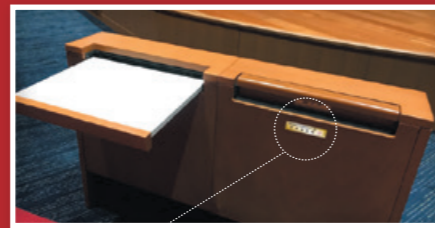


新作が多数登場！
CHUKYO MARKETで
検索！



「座席芳名プレートキャンペーン」を 実施中です！

ご寄付いただいた方のご芳名を、中京大学名古屋キャンパスの清明ホールまたは豊田キャンパス大体育館の「椅子」の背に刻み、末永く留めさせていただきます。皆さまからのご支援・ご協力をお願い申し上げます。募集概要は以下のとおりです。



お申し込みは
こちらから！



※芳名プレートイメージ
(変更する場合があります)

対象	期間	座席	場所
期間中に5万円以上の寄付をされた方 ※個人さまのみを対象とさせていただきます。	2021年8月1日から上限になるまで ※上限席数に到達次第終了となります。	先着764名	名古屋キャンパス「清明ホール」(500席) 豊田キャンパス「大体育館」(264席) ※上限席数に到達次第終了となります。 ※お一人さまにつき1席までとなります。

韓国大使館で一等書記官として活躍する 附属高校OBの奥村寿行さんとオンラインによる講演と座談会 「キャリア探究プログラム」外務省 高校講座」を開催

中京大学附属中京高校で11月17日、キャリア探究プログラムの一環である「外務省高校講座」が、附属高校の1、2年生と国際コースの1〜3年生を対象にオンラインで行われました。

講師を務めた奥村寿行さんは、附属高校OBの検事で、現在は外務省に出向し在大韓民国日本国大使館で一等書記官として活躍されています。奥村さんは、ソウルからオンラインで出演。「外務省について」「大使館での仕事」「皆さんへのメッセージ」というテーマで、それぞれの内容をお話いただきました。講演には、外務省を題材にしたクイズも含まれ、教室が笑いに包まれる場面も見られました。

奥村さんは講演の最後に「大切なのは、自分の適性を把握し、個性を伸ばすことです」と高校生にメッセージを送り、「勉強だけでなく何事にも積極的にチャレンジして、世の中の常識や人間性を身に付けること。また、勉強でもスポーツでも努力する習慣を付け、すぐに結果が出なくても諦めないでください」と伝えました。

講演が終わると、奥村さんと、希望した生徒7人によるオンライン座談会が行われました。出席した生徒からは、「海外で仕事



座談会の様子

講演の様子

をするために必要なこと」から「高校時代の生活に関すること」などさまざまな質問が寄せられました。

講演会後のアンケートでは、「貴重な機会だった」「自分の学校のOBにこんな素晴らしい人がいらっしやることを誇りに思う」「奥村さんのように自分も努力していこうと改めて決意した」「国際的に活躍できる仕事をしてみたいとなった」といった声が多く寄せられ、生徒たちは将来について視野が広がった様子でした。

中京大学附属中京高校「スケート部」近況報告 今後に期待のできる成果が出た今シーズン

中京大学附属中京高校スケート部の今シーズンは、フィギュアスケートの各選手がそれぞれ活躍しました。

ドイツ・オーバーストドルフで開催されたバヴァリアンオープン2022（1月18〜23日）には1年の吉田陽菜選手がジュニア女子シングルで出場し、シヨート1位、フリー1位で優勝に輝きました。国際大会でトリプルアクセルを成功させるなど、充実した内容を見せました。

また、エストニア・タリンで開催された四大陸選手権2022（1月18〜23日）には2年の松生理乃選手が女子シングルで出場し、シヨート8位とやや出遅れるも、フリーで自己ベストとなる142点の高得点をたたき出し、5位入賞で大会を終えました。

全国高校総体（インターハイ）のフィギュアスケート競技は1月17〜21日に盛運輸アリーナ（青森市）で行われ、出場した横井きな結選手（2年）が4位、中村俊介選手（1年）が2位と入賞を果たしました。両選手は第77回国民体育大会冬季大会（栃木県）（1月24〜27日）にも出場し、中村選手は優勝、横井選手は6位入賞と活躍しました。

成績発表

○インターハイ フィギュアスケート競技

中村俊介選手 2位 横井きな結選手 4位

○バヴァリアンオープン2022 吉田陽菜選手 優勝

○栃木県体フィギュア競技(1/24〜27)

中村俊介選手 優勝 横井きな結選手 6位

○チャレンジカップ(オランダ・ティルブルフ) 2/24〜27

松生理乃選手 SP 74.21 FS 150.13 総合224.34 優勝

SP, FSのすべての項目で加点が付く、ノミス完全優勝を達成。自己ベストを20点以上更新しました。トリプルアクセルや4回転ジャンプを入れずにフリーで150点を超えるのは史上3人目です。全日本選手権、オリンピックと比較すると、それぞれ坂本花織選手に次ぐ2位、4位の記録です。

中村俊介選手 SP 78.33 FS 133.54 総合 211.87 優勝

自己ベスト更新で優勝しました。



今シーズンの松生選手



在学生の皆さまへ

中京大学の広報誌やスポーツ誌は、
卒業後は希望された方のみにお送りしております。
卒業後の送付についてご希望がありましたら、
コードを読み取り、登録をお願いいたします。

学園情報・広報誌等お申し込みフォーム

